

まちの話題

Town topics



1/23 ~2/5 若狭町立保育所(園)幼児画展

若狭町立の保育所・保育園に通う子どもたちの絵画展がパレア若狭で開催されました。一部は1月23日～29日まで3歳児・4歳児全員、また二部は1月30日～2月5日まで修了記念展として5歳児全員で計243人が出品しました。子どもたちが無心に取り組んでいる様子の写真も掲示され、会場は親子連れで賑わっていました。

子どもが自分の絵を見つけると、一緒に来たお母さんに笑顔で説明する姿も見受けられ、ほのぼのとした雰囲気にも包まれていました。会場にいた保育士は「いつも子どもたちの自由な発想に驚かされています。これからも素直にのびのびと育てほしい」と話してくれました。



1/27 山内かぶら給食



山内区の伝統野菜「山内かぶら」を使った給食が町内11小中学校で提供されました。

タネを使った粒マスタードで味付けした「照り焼きマスターズチキン」、実だけでなく茎や葉を余すところなく使った「山内かぶらのクリーム煮」などを子どもたちは美味しそうに味わっていました。

瓜生小学校では、給食の前に粒マスタードを生産者と共同で開発したコンサルティング会社「デキタ」の山川みをさんを講師に迎え、今まで廃棄していた山内かぶらのタネと、梅干しを作る時に出てくる梅酢を利用して、新たな商品を作ったことを教えてもらいました。それにより生産者も廃棄物が減り、収入源も確保できるという循環が生まれ、ひいては生きがいつくり、まちづくりにつながることを学びました。

2/5 ~3/19 熊川宿のひなまつり

若狭熊川宿まちづくり特別委員会が主催して「熊川宿のひなまつり」が開催されました。

令和2年より始まり今回で4回目で、熊川宿の恒例行事となっています。今年は民家や商店、公共施設など23軒30組が飾られて、華やいだ雰囲気に包まれていました。また、一部は夜のライトアップも行われ、幻想的な熊川宿に多くの人たちで賑わっていました。



〈写真：四方由紀子〉



2/6 防災減災パートナーシップに関する協定締結



町と福井放送株式会社は、「防災減災パートナーシップに関する協定」を締結しました。この協定は、町内で災害が発生したまたは発生のおそれがある場合、被害を軽減するためにメディアを活用した情報の発信、および平常時には防災減災の活動に相互に協力し、町民の安全の確保に寄与することを目的とするもので、渡辺町長と福井放送の池内昭彦社長がそれぞれ署名して締結しました。

渡辺町長は「災害時には正確な情報が重要になってきます。この協定は本当に心強く思っています。また、平常時には相互が連携し防災教育を行うなど、災害に強いまちづくりを進めていきたい」と挨拶しました。

2/7 味覚体験授業

鳥羽小学校で洋食屋「和伊和伊亭」のオーナー竹中淳二さん(市場)を講師に迎えて、日本の食文化への関心と理解を深め普及と継承につなげることを目的に、味覚体験授業が行われました。

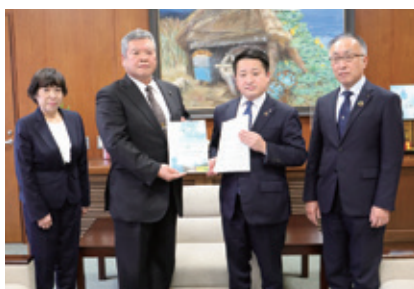
参加した4年生17名は、甘味、塩味、酸味、苦味、うま味の五味について学んだ後、昆布、ジャコ、かつお節、しいたけ、鶏肉からとっただしで炊いた5種類の大根を食べ比べし、うま味の違いを実感しました。

その後、かつお節で実際にだしを取り、塩、酒、しょうゆ、白ネギや鶏肉を順次加えるごとに味見をし、味の変化を体験しながら親子丼を完成させ、試食をしました。

竹中さんからは「手順を守れば料理は難しくない」「だしが基本、美味しいだしを使えば何にでもアレンジできます」と教えてもらい、料理は様々な味が組み合わせられていくことを学びました。



2/8 第2次若狭町総合計画(中期基本計画)答申



第2次若狭町総合計画について、総合計画審議会は令和5年度から令和9年度の指針となる中期基本計画案を渡辺町長に答申しました。

中期計画目標は、将来も住み続けられ、心ゆたかで「幸せ」な暮らしの実現のもと、地域経済活性化によるビジネスと雇用の創出、快適に暮らせる住環境整備、健康寿命の延伸、子育て環境の充実、移住・定住・Uターンの促進などを重点政策に掲げています。

この日、三方庁舎2階応接室において同審議会の中村正人会長(堤)らが計画案を渡辺町長に手渡しました。渡辺町長は「スピード感をもって実行に移さねばならない。新しい未来を創っていきたい」と話しました。

2/9 お箸伝統文化体験教室

文化庁の委託を受け、昨年6月に設立した一般社団法人おはしのくに(本部小浜市)により「お箸伝統文化体験教室」が三宅小学校において1~4年生約50人を対象に行われました。

同法人の代表理事浦谷兵剛さん講師のもと、正しい箸の使い方を学びました。浦谷さんから日本箸文化協会などによると、お箸を美しく持てる日本人は約2割だそうです。「海外から日本はお箸の国と見られている。恥ずかしくないようにちゃんと身につけよう」と呼びかけました。子どもたちは、親指、人差し指、中指の3本の指で上の箸を上下に動かして下にもう一本通すなどを教わりました。その後、長い箸を手のサイズに合った長さに切り、やすりがけ、色付けをしました。後日、職人の方が漆塗りなどをして仕上げ、各自に届けられるそうです。



2/9 第31回若狭ライオンズクラブ・令和4年度若狭町スポーツ協会スポーツ賞合同表彰式



パレア若狭において、令和4年中にスポーツで優秀な成績を取った個人と団体計58名に対して表彰が行われました。



表彰式では、国体などソフトボール競技で活躍した辻本莉央さん(敦賀気比高校3年)が日頃の感謝と今後のより一層の精進を誓い、謝辞を述べました。

まちの話題

Town topics



2/11 ~26 いわさきちひろピエゾグラフ展

越前市生まれの絵本作家いわさきちひろの複製画30点を集めた「いわさきちひろピエゾグラフ展」がパレオ若狭ギャラリーで開かれました。

ピエゾグラフとは、原画の色合いや風合いをデジタルで保存し、耐光性のある微小ドットインクで再現した印刷技術です。今回は安曇野ちひろ美術館(長野県)より借り受け、四季のなかで遊ぶ子どもたちの姿やあかちゃんを描いた代表作などを展示しました。

初日の2月11日(土)には、同美術館の山田学芸員によるギャラリートークも開かれ、約30人が水彩のにじみによる独特のやわらかいタッチの世界を堪能しました。



2/12 若狭町少年剣道大会開催

第17回若狭町少年剣道大会が三方体育館において3年振りに開催され、町内剣道スポーツ少年団に在籍する38名が参加し、白熱した試合を繰り広げました。

入賞者は以下の通りです。

【団体戦】

男子の部 優勝:向笠 準優勝:剣誠館A 第三位:気山

女子の部 優勝:向笠 準優勝:剣誠館A 第三位:剣誠館B

【個人戦】

男子の部 優勝:6年生 熊谷薩馬さん(気山) 4・5年生 長谷川大誠さん(向笠)

3年生以下 田辺隼大さん(剣誠館)

女子の部 優勝:6年生 吉田ひかりさん(剣誠館) 4・5年生 芦田結葉さん(剣誠館)

3年生以下 山田新衣菜さん(気山)

1年生の部 優勝:小堀隼弥さん(向笠)

2/13 西川貴教さんが来町されました

ミュージシャンの西川貴教さんが、若狭町役場を訪問されました。昨年NHKファミリーヒストリーにて西川さんのルーツが若狭町にあることが紹介されました。西川さんの曾祖父の中川捨藏さん(横渡)は、私財を投じて芝居小屋や映画館を建てられ、身内からエンターテイナーが生まれることを夢見ていたことなどが紹介されました。本放送後、町長から御礼とご挨拶のお手紙をお届けしたところ、このたび来町が実現しました。第2のふるさととして、「中長期的に若狭町のために何ができるか考えたい」という思いを語られました。



2/17 放射線・エネルギー学習の出前授業

三方中学校において放射線とエネルギーについて学ぶ出前授業が開かれました。

日本原子力文化財団(東京)が、全国の中学高校で年間150回程度行っているもので、2年生61名が参加し放射線の基礎知識を学んだり、「霧箱」という道具を使い放射線が通った跡を可視化する実験や、専用機器を使い身の回りの放射線量を測定し、放射線が身近な存在であることを確認したりしました。



この日講師として訪れた福井大学附属国際原子力工学研究所の安田仲宏教授から、放射線が人体に影響を与える量も聞き、万が一の時も落ち着いて行動できるようになることの大切さを教えてもらいました。

合間には子どもたちが安田先生に熱心に質問する光景が見られ、関心の高さがうかがえました。



診療所だより

健康や、診察・治療内容に関する情報などを掲載していきます。日ごろのお悩みや疑問についてもお聞かせください。

「オンライン診療」のススメ **その②** — 高血圧症の方へ —

そもそもオンライン診察の対象とは？ ほぼ全ての慢性疾患です。

当院では令和4年3月からオンライン診療を始めて1年になります。当院のオンライン診療利用者は、高血圧症、糖尿病、脂質異常症の方が多いようですが、未だ一定数の利用に留まっています。そこで今回は、特に高血圧症の方を中心に勧めたいと思います。

2019年推計での高血圧の方は日本全体で4,300万人、そのうち1,800万人は未治療とあります。ここ10～20年で優れた薬が開発されたことなどから、ぜひ治療を受けていただきたい疾患の一つです。

寿命が伸びたこともあり、高齢になってから脳、心臓、腎臓などの疾患が増えていますので、若いうちからの血圧コントロールが非常に重要です。薬剤治療だけではなく、血圧測定方法の確認から始め、自宅血圧の変動、生活習慣などを確認し、さらに合併症の有無を調べた上で初めて、必要ならば薬剤内服によるコントロールとなります。前述のように治療が必要でありながらも継続できていない方に対して、オンライン診療はもってこいの方法であろうと思います。

現代社会では膨大な情報を手にすることができますが、まずは医師にご相談されてはいかがでしょうか。ぜひ、ご連絡ください。お待ちしております。



問い合わせ 健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188

わたしたちのSDGs

町内でSDGsの取り組みを
されている企業・団体にお聞きしました



有限会社 榎本自動車

福井県三方上中郡若狭町気山295-16-1

事業内容

新車、中古車の販売とカーリース
車検、点検、一般修理、自動車保険
お車のことなら何でもお任せ下さい。

SDGs目標



SDGs取組内容

次世代を育てる、子どもたちの学びを支援する

中学生の職業体験を受け入れ、将来に向けての学び
気付きがうまれることを期待するとともに、地元雇用促
進や地域活性化に貢献します。

環境に配慮した製品の利用と再循環

- エコアクション21認証取得（環境省が定めた環境経営システム）
平成21年11月5日より継続中
- 株式会社ロータスの廃油回収事業に参画、積極的なリサイクルパーツの利活用により中部運輸局長表彰
- 『環境に配慮した自動車整備事業場』受賞
- エコキャップ運動実施中



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和5年4月から ごみの分別方法と 処理方法が変更になります。

詳細は、ごみ分別冊子「ごみと資源物の分け方・出し方」をご確認ください。

ごみ分別アプリ
ごみサポ!

4月
更新



Androidの方
はこちら



iPhoneの方
はこちら

ごみの収集日や出し方が確認できます。
ダウンロードは無料！(通信料がかかります)

広域ごみ処理施設の稼働に伴い、若狭町の可燃ごみは、4市町(若狭町、高浜町、おおい町、小浜市)で共同処理されます。また、若狭町の不燃ごみ、資源ごみを若狭町向笠のエコクル美方(リサイクルプラザ)に集約し、処理することで効率的で持続可能なごみ処理体制を目指します。

変更点

町指定ごみ袋 新しい町指定ごみ袋の種類は、燃えるごみ袋(大)、燃えるごみ袋(小)、陶器・ガラス性燃えないごみ袋、金属製燃えないごみ袋、資源ごみ袋(飲料容器専用)です。

<旧の町指定ごみ袋の使い方>

- 燃えるごみ袋 → 燃えるごみ袋
- 生ごみ袋 → 町指定ごみ袋として使用できませんので、可燃ごみ袋に二重にして出すか、他のごみ袋として使用してください。
- 陶器・ガラス性燃えないごみ袋 → 陶器・ガラス性燃えないごみ袋
- 埋立てごみ袋 プラ・ビニール、陶器・ガラス用 → 陶器・ガラス性燃えないごみ袋
- 金属製燃えないごみ袋 → 金属製燃えないごみ袋
- 燃やせないごみ袋(金物・鉄くず) → 金属製燃えないごみ袋
- 資源ごみ袋(アルミ缶専用、スチール缶専用) → 資源ごみ(飲料容器専用) ※飲料缶とペットボトルは別々の袋に入れる
- 資源ごみ袋(ペットボトル専用) → 資源ごみ(飲料容器専用) ※飲料缶とペットボトルは別々の袋に入れる

分別方法

可燃ごみの対象品目が統一されます。生ごみ、プラスチック類、ビニール、ゴム製品、革製品などは可燃ごみとして収集に出すか、対象の施設へ持ち込んでください。

<ごみの分別方法>

品目が同じでも大きさや素材によって分別区分が異なる場合があります。
詳細は、ごみ分別冊子「ごみと資源物の分け方・出し方」をご確認ください。

持ち込み先

対象品目ごとに、持ち込み先が異なりますので、事前に可燃ごみ、不燃ごみなどに分別をして施設へ持ち込んでください。

<分別区分ごとの持ち込み先>

- 可燃ごみ：クリーンセンターかみなか(下タ中)、若狭広域クリーンセンター(高浜町水明)
- 可燃性粗大ごみ：クリーンセンターかみなか(下タ中)、エコクル美方(向笠)、若狭広域クリーンセンター(高浜町水明)
- 不燃ごみ：エコクル美方(向笠)
- 不燃性粗大ごみ：エコクル美方(向笠)
- 混合性粗大ごみ：エコクル美方(向笠)

クリーンセンターかみなかは、一時的な仮設積替施設になります。(～令和6年1月)
令和6年2月(予定)からは、若狭広域サテライトセンター(日笠)に移行されます。

お問合せ 環境安全課 TEL:0770-45-9126